

# こんにちは！ 地域おこし協力隊 です

※地域おこし協力隊とは、人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的として設立された制度です。

臼杵市では、移住定住支援や中心市街地の活性化、有機農業の推進など、様々な分野で協力隊の皆さんが活躍しています！

令和2年度から地域おこし協力隊として活動している仲間をご紹介します！

5月1日に有機農業隊員として着任した**明智 大輔(あけち だいすけ)**さんは、有機農業隊員として、生産はもちろん、販売や配達などを通して、有機農業の取り組みを広めるための活動をしています。地域や町なかの食のイベントなどでも、ほんまもん野菜をPRする姿を見かけることがあるかと思いますが、その際にはぜひ声をかけてみてください。

## 自己紹介

皆さん初めまして。令和2年5月より地域おこし協力隊(有機農業隊員)として着任しました明智大輔と申します。高知県出身の38歳です。妻と息子、娘の家族4人で移住してきました。臼杵に来る以前は高知で有機農業法人で3年間勤めていました。元々は高知で就農する予定でしたが、残念ながら有機となると行政に相談しても良い顔をされず「施設園芸でなければ食べていけないからハウスを建てられるお金を貯めてからまた来て下さい」という具合。住民の方々にもあまり理解されず色々と考えた結果、有機農業でも受け入れてもらえる土地で頑張ろうという結論に至り、情報を集めるなかで臼杵市に興味を持ちました。早速市役所に連絡をすると、とても丁寧に対応して頂き驚いた事を今でも覚えています。

その後、移住に向けて何度か臼杵に来たのですが、その度に臼杵の方々の温かさに感激し、移住後もやっぱり人々の温かさに触れる事が多くて「町よし、ふぐよし」は本当なんだと実感しています。



## 活動内容

現在は藤嶋農園で農業を学びながら、野菜の配達やオーナー農園のサポート等に取り組みつつ、大豆の栽培を始めています。本来であればいろいろな販売促進のイベントにも参加するところではありましたが、コロナウイルスの影響でイベントや県をまたいでの移動もはばかれる状態が続いていますので、まずは農業の基礎をしっかり磨くことに専念させて頂いています。今後は高知で学んだ水田から畑作への転換等も取り入れながら「美味しい」にこだわった野菜を作りたいと思います。有機だから買うではなく、あなたの作る野菜だから買うと言って貰える事を目標に、日々頑張りますのでよろしくお願いします。